

「武蔵野美術大学緊急対応給付型奨学金」Bコース 出願書①

※ 記入の際は黒または青のボールペンを使用してください。

■ 学生情報（本人が直筆で記入してください）

該当する内容を○で囲んでください

学部生 ・ 大学院生（修士）				
学籍番号		学科・コース		学年
氏名	か (姓)		か (名)	
現住所	〒 —			
電話番号	(携帯)	e-mail		

■ 保証人情報（本人が直筆で記入してください）※保証人は原則父または母で、学資支弁者となります

保証人氏名		学生との続柄	
保証人住所	〒 —		
保証人電話番号	(自宅 ・ 携帯)	e-mail	

■ 申告欄（該当するものがある場合は☑をしてください）

- A: 母子・父子家庭である B: 独立生計である（本人のみ）
- C: 独立生計である（配偶者あり）

※ 上記A～Cに該当する場合は、証明書等が必要になります。詳細は「緊急対応給付型奨学金」出願書②をご確認ください。

■ 経済支援併用状況（申請したものに☑をしてください [これから申請も含む]）

- 該当するコースに○
- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 武蔵野美術大学奨学金（B ・ C） | <input type="checkbox"/> 武蔵野美術大学地方出身学生支援奨学金 |
| <input type="checkbox"/> 日本学生支援機構奨学金（第一種） | <input type="checkbox"/> 日本学生支援機構奨学金（第二種） |
| <input type="checkbox"/> 民間奨学金 名称： _____ | |
| <input type="checkbox"/> 武蔵野美術大学 緊急学修支援金（長期型） | <input type="checkbox"/> 武蔵野美術大学 緊急貸付金（短期型） |

■ 公的支援の証明書の写し（同封したものに☑をしてください）

- 持続化給付金 経済産業省
- 緊急小口資金 総合支援資金（生活費）社会福祉協議会
- その他（ _____ ）

「武蔵野美術大学緊急対応給付型奨学金」Bコース 出願書②

※ 記入の際は黒または青のボールペンを使用してください。

■ 出願理由（本人が直筆で新型コロナウイルス感染症の経済的影響を具体的に記入してください）

■ 誓約欄

武蔵野美術大学 学長殿		
「緊急対応給付型奨学金」に必要書類を添えて申請します。出願書①②に記入した内容は、事実と相違ありません。万一、虚偽申告や不正行為が発覚した場合は、全額返金するとともに、懲戒処分も受け入れます。		
誓約日		
_____年 _____月 _____日		
学籍番号	学科・コース等	学年
_____	_____	_____年
誓約者署名		印
_____		_____
保証人署名		印
_____		_____

■ 申告内容を証明する書類

願書①の「申告欄」A～Cに☑を入れた方は、以下の証明書等を添付してください。

A： 以下①～⑤のいずれか一つを提出

①戸籍謄本の写し（コピー可）②直近の「源泉徴収票」または「確定申告書」の寡婦・特別寡婦・寡夫に○や金額等の表示があるもの（コピー可）／③「ひとり親家庭等医療費補助に係る証明書」のコピー／④離婚届または離婚を公的に証明する書類のコピー／⑤失踪や死亡を証明する書類のコピー／※上記以外でも①～⑤の内容を満たす公的書類と確認できれば同等のものと見なします。

B： 以下①～③すべてを提出

①本人の2019年分、2020年分「課税証明書」／②本人の「健康保険証」のコピー／③独立生計であることの理由書（任意書式／ただし父または母の直筆で署名・捺印があるもの）

C： 以下①～⑤すべてを提出

①本人の2019年分、2020年分「課税証明書」／②配偶者の2019年分、2020年分「課税証明書」／③本人の「健康保険証」のコピー／④配偶者の「健康保険証」のコピー／⑤世帯全員が記載された「住民票」の写し（コピー可）

■ 申告内容を証明する書類

願書①の「申告欄」A～Cに☑を入れた方は、以下の証明書等を添付してください。

A： 以下①～⑤のいずれか一つを提出

①戸籍謄本の写し（コピー可）②直近の「源泉徴収票」または「確定申告書」の寡婦・特別寡婦・寡夫に○や金額等の表示があるもの（コピー可）／③「ひとり親家庭等医療費補助に係る証明書」のコピー／④離婚届または離婚を公的に証明する書類のコピー／⑤失踪や死亡を証明する書類のコピー／※上記以外でも①～⑤の内容を満たす公的書類と確認できれば同等のものを見なします。

B： 以下①～③すべてを提出

①本人の2019年分「課税証明書」／②本人の「健康保険証」のコピー／③独立生計であること理由書（任意書式／ただし父または母の直筆で署名・捺印があるもの）

C： 以下①～⑤すべてを提出

①本人の2019年分「課税証明書」／②配偶者の2019年分「課税証明書」／③本人の「健康保険証」のコピー／④配偶者の「健康保険証」のコピー／⑤世帯全員が記載された「住民票」の写し（コピー可）

〈母子父子家庭〉

家計審査は父母（またはその代わりに家計を支える者）2名分の年収（合算）を基に行うが、母子父子家庭の場合は当然、1名分の書類しか提出できない。ただ、申告ベースだと「本当に母子父子家庭であるか」の確認ができないので、左記に記載された公的証明書を用いて判断する。

〈独立生計〉（本人のみ）

社会人しながら学生として通う学生の場合、扶養から外れていることの証明と本人の年収証明および両親が生計を助けていないことの申告を以てこれを認める。

※レアなケースとして「扶養には入っているが独立生計」というパターンがある。たとえば両親（あるいは母子父子家庭でその片親）が障害者等で経済力がなく、本人が働かざるを得ないといった事例。この場合は、左記の証明書に加え、両親（あるいは母子父子家庭でその片親）の「非課税証明書」の提出を求めるが、ごく稀なケースなので発生した際に相談。

〈独立生計〉（配偶者あり）

すでに結婚して配偶者がある場合は、本人および配偶者が家計支持者となるため、両名分の収入に関する証明書が必要となる。また、同世帯であること（たんなるパートナーではなく）と、本人・配偶者の扶養・被扶養をの状況を確認する（住民票には扶養情報は記載されない）。